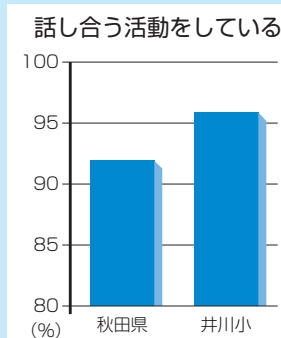


3 研究の成果

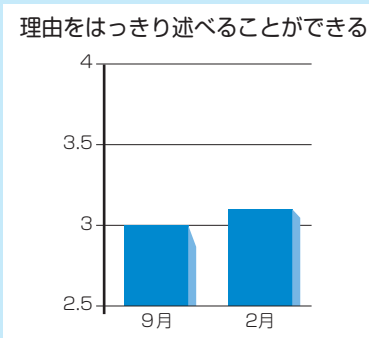
- (1) 教科によって思考を深める対話の仕方や授業展開に大きな差異があることを、授業研究会を通して共通理解することができた。
- (2) T1, T2といった主従の役割分担ではなく、一人一人の指導内容を質量ともに高めることをねらって、効果的なTT授業を実践することができた。
- (3) 互いに批判せず、自分が培ってきた教育財産を交流する研修会を数多く開き、「井川メソッド」の開発に向けて大きく前進した。



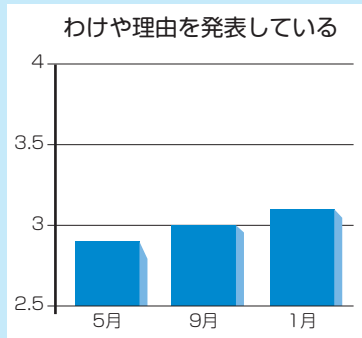
《県学習状況調査 4年～6年》



《職員学校評価》(4点満点)



《子ども学習アンケート》(4点満点)



4 研究の課題

- (1) 教科の特性を踏まえた思考を深める対話のスタイルは、まだ十分に整理されているとは言えない。いわゆる「あきた型探究授業」の様々なスタイルをより深めていく必要がある。
- (2) 義務教育学校では、多くのTT授業が展開される予定であり、教科によって効果的なTT指導の在り方を一層研究していく必要がある。
- (3) 教師一人一人の教育財産の共有は、これからの教育の質の向上には欠かせない。研修会をさらに工夫しながら「井川メソッド」の開発を目指したい。



指導・助言

秋田県教育庁中央教育事務所
小玉 克男 指導主事
秋田県教育庁中央教育事務所由利出張所
菊地 邦彦 指導主事

伊藤 景子 指導主事

鈴木 健 指導主事

研究同人

六郷 博志
鈴木 彰
菅生 秀昭
山崎 仁美
藤田 重男

三浦 智
佐藤 広美
藤原 較也
小林留美子

小松 洋子
三浦 悦子
沓澤千佳子
小坂 浩子

柏木明日香
岩谷 幸子
築瀬 智美
イザベル・クレバセ

森泉有希恵
佐藤美奈子
伊藤 敏幸

H29年度

研究のまとめ

井川町立井川小学校

研究主題

対話で思考を深め合う授業の展開
～義務教育学校に向けた探究型授業を目指して～

1 研究の概要

(1) 主題設定の理由

《昨年度の成果》

- (1) 対話を通して思考を深める授業を教師が心掛けることで、子どもたちの意欲が向上し、意欲的に発表する子どもが増えた。また、理由も明確にして発表できる子どもが増えてきた。
- (2) グループの構成人数について、様々な人数を試行することで、話し合いの目的、指導のしやすさ、話し合いの内容などから、3～4人を基本に実践することを確認できた。
- (3) 対話を想定した指導案にすることで、主発問と補助発問の関係が明らかになり、事前検討や事後の検証がしやすいことが分かった。

《昨年度の課題》

- (1) グループでの話し合い活動での学習リーダーの役割、回数や時間、場の設定の在り方について検討していく必要がある。
- (2) 教師の授業力向上につながる授業研究会の設定の仕方を検討していく必要がある。
- (3) 話し合いの問題解決の方法や主発問と補助発問の組み立て、話し合いの収束の方法などを、さらに研究する必要がある。



めざす子どもの姿

対話を通して思考を深め合うことができる子ども

対話：子ども達が自分の考えを伝え合ったり、共通点や相違点を話し合い、よりよい考えについて議論したりしながら思考を深めていくことと捉える。

(2) 研究の仮説

発問や助言を効果的に構成したり、リーダーを中心にしたグループや学級での対話の質を深めたりすることで、子どもたちの深い学びができるようになるであろう。

(3) 研究の重点

①対話を通して思考を深める授業づくり ●グループや学級での対話の質を高める指導 ●学習リーダーへの指導の在り方 ●発問の分析による探究型授業への多様な試行	②基礎・基本の定着(井川メソッドの開発) ●語彙力や計算力を付けるための効果的なカリキュラムの検討 ●子どもの学習への意欲の持続や向上を図る指導方法の研究と実践	③教科や教師の特性を生かした効果的なTTの在り方 ●コミュニケーション能力のための効果的なALTの活用の在り方(外国語活動) ●多様な学習集団の編成によるTTでの授業づくり(理科)
全学年	1～4年生	5, 6年生

(4) 対話を支える基盤づくり

- 基本的な学習習慣の確立(身に付けさせたい学習習慣一覧を活用した共通実践)
- 話し方・聞き方のルールを徹底

(5) 研究会

- 事前・事後研究会の在り方と授業参観方法の再検討
- 日常の授業実践を交流する研修会の実施

(6) 研究の検証

- 諸調査(学力・学習状況調査等)
- 学習・生活アンケート(教師と児童の比較)
- 授業研究会
- 授業中の子どもの発言やノート(自分の考えや振り返り)



2 研究の内容

効果的なT T 授業の構築

外国語活動（6年1組「Let's go to Italy.」）

これまでのT 1, T 2という概念をこえて, A L Tを含めて3人が役割分担をする中で一人一人に効果的に指導する授業を試行した。

●指導者の役割

導入	1 あいさつをする 2 チャンツをする
展開	3 Today's goalを確認する お客さんにあった旅行プランを提案しよう！ 4 プラン提案を行う ・好きな事柄, 趣味等を聞く ・各プランを提案する ・ペアの紹介を見る
終了	5 今日の活動を振り返る 6 あいさつをする

役割	指導者	小学校 教員	中学校 教員	A L T
学習活動を進めていく		◎	○	
ゲームのルールを伝える		○	◎	
デモンストレーションをして, モデルとなる		○	◎	◎
外国語の正しい発音を指導する			◎	◎
グループ活動を見取る		◎	◎	◎
子どもの変容を見取り, 中間発表や振り返りにつなげる		◎	○	



井川メソッド（漢字・計算等の定着）の開発

◇実践交流会の実施（6回）

- ・ノウハウやハウツーなど一人一人がもつ財産の共有を目指した研修会。
- ・「実践レポートの前日提出」「当日の短時間での説明」を原則とし, よい実践を学ぶ。

〔実践レポートから〕

漢字ミニテスト, 百マス計算, 辞書引き競争, 授業冒頭読み聞かせ, 聴写を通した聞く練習, 授業冒頭語句調べ, スピーチ練習, 読書貯金カード, 日常での声だし, 鉛筆対話, フラッシュカード的復習, 筆算リレー, できない子もできる器楽演奏

◇メソッドづくりに向けた考察

- ・実践レポートでの共通キーワード

授業開始5分間

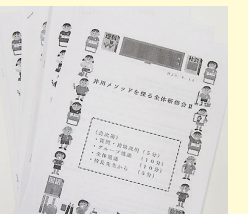
反復

スピード・リズム

競争の導入

復唱（唱和）

- ・生活の中での定着の工夫と仮想場面の設定による訓練を効果的に行う。
- ・定着が不十分な子どもの意欲を高める配慮と工夫が必要。



教科の特性をふまえた, 対話による思考を深める授業の実践

課題解決に向けて, 個人, グループ, 全体を自在に組み合わせて対話（話し合い）が進んでいく。

仮説検証型の授業構成をふまえ「予想」と「考察」を中心に対話する

個人との対話を中心に, 一人一人に合った多様な言葉掛け, 指示, 助言を組み合わせる。

国語科の授業（4年1組「一つの花」）

課題	ゆみ子の家がコスモスの花でいっぱい包まれているわけを考えよう。
全体の話合い	T「十年後, ゆみ子とお母さんはどんな生活をしていきますか？」 C「平和」「二人暮らし」 T「コスモスの花で『いっぱい包まれている』という様子はどう書かれていますか？」 T「コスモスを植えたのは誰ですか？」 C「二人」「自然に生えた」
※教師が補助発問を重ねながら全体と対話をしていく。	T「お母さんがコスモスを植えたわけは何ですか？」 C「お父さんが最後にくれた花だから」 C「お父さんとの思い出の花だから」 C「お父さんの願いを受けついでから」
グループの話合い	T「コスモスがいっぱいというのは, 何を表していますか？グループで話し合ってください。」 (グループからの発表省略)
主発問	T「では, このコスモスの花は何を表していますか？」 「父との思い出」………
全体の話合い	



理科の授業（3年1組「こん虫を調べよう」）

課題	トンボやダンゴムシ, バッタはこん虫なのか。
個人への指導 予想・仮説の設定	T「どれがこん虫ですか」 T「こん虫でないとすると, 何かな」 C「みんなこん虫だと思う」 C「くもはこん虫ではないと思う」 T「あしの数や体の分かれ方を調べなさい。」
観察 全体での話し合い 結果発表	C「バッタ, トンボ, アリはむねにあしが6本あったのでこん虫だと思う」 C「ダンゴムシはあしが14本なのでこん虫ではない」 C「クワガタムシは, あしがむねから出ていないのでこん虫ではない」
考察	T「不思議に思ったことや気付いたことは？」 C「こん虫には羽がある」 C「ムシという名でもこん虫とは限らない」 T「こん虫かどうかは何を見たとわかる？」 C「あしの数」………
結論	



図画工作科の授業（5年1組「デザイン」）

課題	自分のイメージを大切に, 絵の具で表そう。
全体への助言 個人への指導 全体的な印象・活動	T「自分のイメージを大切に作品を完成させよう。」 T「がんばってるね」 T「いい感じ」 T「楽しく向き合ってください」 T「乾いたところから塗っていき」 T「色をもう少し多くした方がいいよ」 T「色をどう考えた？」 T「どうして水色ぬっているの？」 T「何をイメージしているの？」
基本的な指示	
製作意図の確認	
解釈	T「これは広いあれなんだね」 T「色の組み合わせを考えながらやっているんだね」
高度な指示	T「形を塗り分けるんじゃなくて, 全体を塗るんだよ」 T「塗っていないところが際立つように塗るといいんだよ」
全体への助言	T「みなさん見てください。Mさんの作品, とても素敵だよ」

